

# 令和7年第1回小国町教育委員会会議録

- 1 開催年月日 令和7年1月28日(火)
- 1 開催の場所 おぐに町民センター 101号室
- 1 開 会 1月28日 午前10時00分
- 1 閉 会 1月28日 午前10時45分
- 1 出席委員 教 育 長 村上悦郎君  
教 育 委 員 木下勇児君  
教 育 委 員 時松比佐代君  
教 育 委 員 高村さつき君  
教 育 委 員 石松愛子君
- 1 出席職員 事 務 局 長 久野由美君  
事 務 局 次 長 後藤栄二君  
(社会教育係長兼務)  
学 校 教 育 係 長 中島こず恵君
- 1 欠席職員 文化振興係長 山下弘子君

## 議事の経過（R 7.1.28）

教育長（村上悦郎君） おはようございます。ただいま、出席委員は全委員5人です。定員数に達しておりますので、令和7年第1回小国町教育委員会会議を開催いたします。

（午前10時）

教育長（村上悦郎君） 議事日程につきましては、お手元に配布してあるとおりです。日程第1「会議録署名の指名について」は、小国町教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、本日出席の教育委員全員及び会議録を調整する職員の署名とします。

日程第2「会期の決定について」 お諮りいたします。会期は本日1日といたしたいと思いますが、これに異議ありませんか。

教育委員（全員） はい。

教育長（村上悦郎君） 異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたします。日程第3「教育長の報告について」、それでは私より、前回の教育委員会会議後12月以降の小・中学校の状況を中心に報告いたします。11月26日以降の教育関係の報告を3点いたします。

### 1 人権劇団「光座」 第75回全国人権・同和教育研究大会公演

「光座」が11月30日、12月1日に開催された、第75回全国人権・同和教育研究大会において 食肉センターで働く職人さんの生き様を劇にした、演題「ひとつだけ」を公演しました。会場となったシアーズホーム（熊本市民会館）には1,500名を超す全国各地からの研修参加者が集まりました。これまで、JA情報企画センター等で自分たちで舞台を設置しての公演が中心でしたが、設備の整った広い会場でも、素晴らしい演技で、熱い思いを表現しました。劇後の演者たちのやりきった表情が印象に残っています。演技者も研修会参加者も胸が熱くなり、涙を流しました。

### 2 小・中学生表敬訪問

12月11日ホッケーU-15日本代表でオーストラリアで開催された、「2024ユースインターナショナルグリフォンカップ」に出場した、小国中学校3年笹原良太郎君と北山倫瑠さんが町長を表敬訪問しました。1月21日「アジアチャンピオンシップ IN タイ 2025」に九州代表として参加した小国小学校6年生山元俄空さん、河津蒼李さんの2名が町長を表敬訪問しました。サッカーでの海外大会の参加は初めてではないかとのことでした。児童生徒の活躍は、町民の方々へのうれしい報告となります。

### 3 熊本県市町村教育委員大会

1月20日に行われました「熊本県市町村教育委員大会」への参加お疲れ様でした。白石県教育長の「令和7年度の重点施策について」の説明資料で、町教育委員会が取り組まなければならないものと、確認しておかなければならないものを別紙にまとめました。資料1をご覧ください。次年度の計画等で参考にしたいと思っておりますが、木村知事が立てた熊本新時代教育大綱をもとに、第4期熊本県教育振興基本計画が策定されました。この計画との整合性を持たせるため、第三次小国町教育大綱を1年繰上げて策定したいと考えています。本来は令和7年度は、前の計画でしたが、特に台湾との交流や教育DXとかいうところをしっかりと位置づけて取り組んでいくべきと考えています。基本理念が自らの可能性を広げ、未来を切り拓く熊本の人づくり、基本目標が5点挙げられています。8番に出ています。グローバル人材の育成、海外留学や台湾との教育交流について各市町村において児童生徒のグローバルな視点を持って交流事業の実施検討を行うということが、この基本計画の中に盛り込まれています。これも小国町の教育大綱の中に、落とし込んでいきたいと思っております。また、その資料で3点ありますが、公立学校の働き方改革について各教育委員会が取り組む内容として7点、県内教育委員会の取り組みが進んでいないものとして5点挙げられました。計画的に取り組んでいくものの中に子どもと家族と一緒に休める環境整備等「くまなびの日」というものが出されています。中段ほど、子どもが、保護者とともに校外で体験的な学習活動を行う時、欠席とはせず出席停止忌引き等と同じ扱いとします。今の対象は県立の中学校高等学校特別支援学校の子どもです。保護者の説明で年間3日ほど取得することができます。裏を見ていただくと、見て学ぶというところは地元の祭りの準備、家や図書館での読書触れ合いなど、海や山の自然体験、学ぶの中にはスポーツ大会出場というのがあります。お休みとせずに子どもといよいよ保護者というのが、県立の中学校で令和7年度から本格実施の予定です。市町村立学校へどういった形でおりてくるかわかりませんが、西原村がこれに取り組むという資料が出ておりました。御承知おきください。また、学校における時差出勤の導入の説明文書を載せております。進捗状況等も、暫時紹介していきたいと思っております。裏を御覧ください。8番に出ています。グローバル人材の育成、海外留学や台湾との教育交流について各市町村において児童生徒のグローバルな視点を得るため交流事業の実施検討を行うということが、この基本計画の中に盛り込まれていますので、これも小国町の教育大綱の中に、落とし込んでいきたいと思っております。小国町も委員さん方もどうなってるのというようなところを、言っていただければと思います。それでは私から3点報告を終わります。

教育長（村上悦郎君） ただ今の教育長からの報告事項について、質問あるいはご意見等あれば、お願いします。

教育委員（木下勇児君） 教育大綱は、通常は何年ごとに変えているものですか。

教育長（村上悦郎君） 4～5年です。町長が替わるタイミングで変えることもあります。必要に応じて変えています。今回大きく変わるということで原案を作っているところです。

教育委員（木下勇児君） 教育の内容はどんどん変わっています。毎年必要に応じて変えてもらえばと思います。

教育長（村上悦郎君） 他に質問あるいはご意見等ありませんか。なければ、次に移りたいと思います。日程第4 教育委員会事務局からの報告について事務局からお願いします。

事務局長（久野由美君） 教育委員参加会議の報告について2点報告します。まず、12月2日、坂本善三美術館運営協議会に時松委員が出席されました。令和5年度と6年度の展示活動、決算、予算、入館者、来年度の展示計画などの説明がありました。来年度は開館30周年記念展覧会や国際芸術祭参加企画展覧会が行われる予定です。次に、1月27日「子ども子育て会議」に時松委員が出席されました。第1期こども計画を3月に策定する計画で、子どもの数の推移や支援などの概要とアンケートの説明、質疑がありました。次回2月25日に行われる予定です。

教育長（村上悦郎君） ただ今の報告事項について、質問あるいはご意見等あればお願いします。なければ、ただいまから議事に入りたいと思います。

日程第5 議案第1号 「令和6年度小国町一般会計補正予算（第7号）の教育に関する事務に係る部分の意見聴取について」を議題とします。事務局からの説明を求めます。

事務局長（久野由美君） 議案集をお願いします。

議案第1号 令和6年度小国町一般会計補正予算（第7号）の教育に関する事務に係る部分の提出のための意見聴取について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定及び教育長に対する事務委任規則（昭和41年教委規則第5号）第1条第12号の規定により、別紙について、令和6年度小国町一般会計補正予算（第7号）の教育に関する事務に係る部分の予算提出のための意見を聴取する。

令和7年1月28日提出 小国町教育長 村上悦郎です。

右肩に赤で1と書いてある、右肩に赤で1と書いてある、令和6年度小国町一般会計補正予算第7号です。右肩に赤で1と書いてある、令和6年度小国町一般会計補正予算第7号です。表紙第1表歳出予算補正で、教育総務費を200万円、小学校費を97万円、中学校費569万円、社会教育費180万円、保健体育費を2万

円、増額し、教育費の総額が5億4,752万6千円となるものです。裏面をご覧ください。下の段の歳出から説明します。2ページと3ページの、項の1教育総務費以下、3小学校費、4中学校費、5社会教育費、6保健体育費、節の1報酬、2給料、3職員手当等、4共済費は、職員及び会計年度任用職員の人件費の増額補正となっています。これは、熊本県人事委員会の勧告によるベースアップによるものと、現在の実績により不足する人件費の増額補正です。2ページに戻って、項の4中学校費、節の10需用費は、中学校保健室床下の水道管の老朽化による漏水があり、緊急な修繕が必要となったもので400万円の増額です。ページをめくって、3ページ、項の5社会教育費、目の4文化財保護費節の10需用費は、町が管理している国指定天然記念物「下の城のイチョウ」の支柱取り替え費用の増額補正です。下の城のイチョウは、強風によるものと推測されますが、令和6年5月6日、長さ約20mの大枝と、複数箇所では枝が折損・落下しました。この被害を踏まえた、「下の城のイチョウ」の今後の管理方法等について、樹木医の意見をお願いしていました。この提案が年末に提出され、これを基に関係者と協議を行い、支柱の取り替えをできるだけ早く行うことにしました。このための増額補正です。なお、この修繕は文化庁の許可がでてから取りかかる事ができるものです。1ページにお戻りください。この歳出に係る費用の財源は、人件費は、地方交付税、中学校修繕費は、学校教育施設整備基金、文化財修繕費は繰越金を充当するものです。これで補正予算の説明を終わります。ご審議方よろしく申し上げます。

教育長（村上悦郎君） ただ今の事務局からの説明について、質問あるいはご意見等があれば、お願いします。

教育委員（木下勇児君） 文化財保護費の修繕費50万円についてです。文化庁の許可が必要ということですが、その許可については、現時点で進捗はどうなっていますか。もう許可が取れてるのか、今申請してるのかこれから申請するのか、どういう段階でしょうか。

事務局長（久野由美君） これにつきましては、今、申請をする段階です。来年度当初予算で計画していましたが、関係者の皆さんとの協議の中で、できるだけ早くやってほしいという希望がだされ、できるだけやってみる方針となり補正予算を計上しています。

教育長（村上悦郎君） 他にありませんか。ご質問等がなければ採決に入ります。議案第1号について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

教育委員全員 はい。

教育長（村上悦郎君） 異議なしと認めます。よって議案第1号 「令和6年度小国

町一般会計補正予算(第7号)の教育に関する事務に係る部分の意見聴取については原案のとおりとすることに決定しました。

教育長(村上悦郎君) 日程第2「その他」となっていますが、委員の皆様からあるいは事務局の方から何かあればお願いします。

事務局長(久野由美君) 次回教育委員会は、2月24日、2月28日です。  
配布物の案内で、時報市町村教委No.312・No.313、エデュニュースNo.119、東研情報1月号データから考える教育事情最前線を配布しております。以上です。

教育長(村上悦郎君) その他に何かございませんか。なければ、閉会したいと思います。慎重審議ありがとうございました。これをもちまして、令和7年第1回小国町教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

(午後1時25分)

小国町教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和7年1月28日

小国町教育委員会 教 育 長

教 育 委 員

教 育 委 員

教 育 委 員

教 育 委 員

事 務 局 長